



学校法人 香川栄養学園



GO!! GLOBAL 2026

国際交流のご案内



世界にふれて“自分”を再認識してみましよう



国際交流センター長
大学院研究科長 田中茂穂

大学生の間は、自分にとっての社会が一気に広がる時期であるとともに、仕事に就いた後と違って、比較的自由がある時期でもあります。だからこそ、世界にふれてみましょう。

今やbentoやOnigiri, tofu, misoは英語として通用するようになってきました。このように、和食は急速に海外で受け入れられています。また、日本の食品会社も、東南アジアや欧米で海外進出を果たしています。そのことからしても、「海外で働きたい」「国際的な仕事をしたい」という希望は非現実的ではなくなってきました。しかし、そこまで考えていない人にとっても、国際感覚は重要です。

もしかすると、「国際化なんて、自分には関係ない」と考える人が多いかもしれませんが、「国際化」と言っても、「国外で働く」とか「常に英語で会話する仕事に就く」などといったことだけではありません。まずは、世界を身近に感じたり、他国の様々な考え方を実感したりすることが重要です。

TVやインターネットなどで「日本(人)の素晴らしさ」を目(耳)にしたこともあることと思います。しかし、日本の中にいる限り、それは「当たり前」のことで、実感がわきません。海外に出ると、価値観や生活習慣、生活環境、時間の感覚などが全く異なることに気づきます。その結果、「やはり日本が一番」となるとしても、その本当の価値をより深く理解することができます。このような「気づき」は、国際的な仕事に就くかどうかにかかわらず重要なことです。

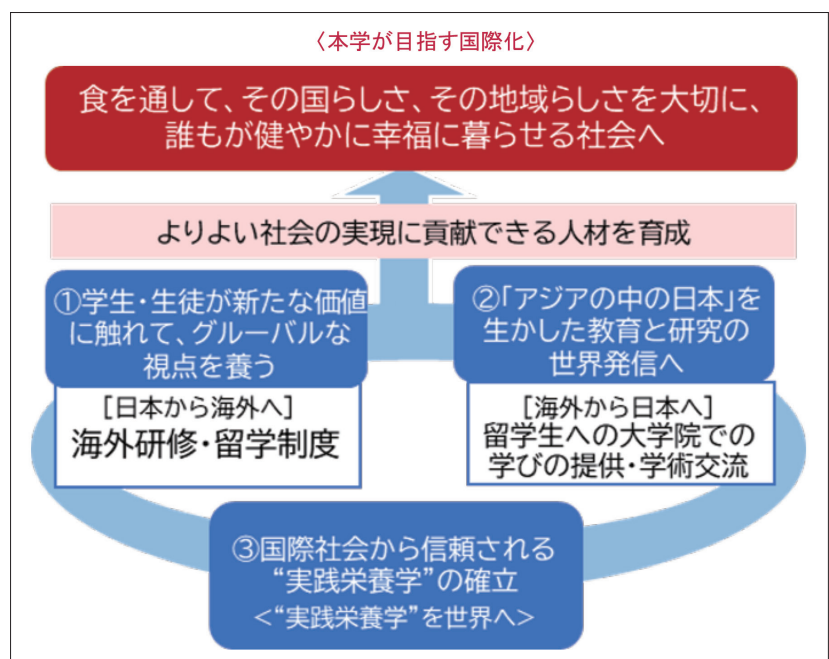
夏目漱石は、約2年間のロンドン留学を悶々と過ごしましたが、それがあったからこそ、「自分とは何か?」「日本の文学とは何か?」を自問自答し、その後の創作活動につながっていきました。自分も、大学を卒業するまでは国際交流にほとんど興味はありませんでした。しかし、24歳の時、金管アンサンブルの演奏旅行でヨーロッパに行ったのをきっかけに、海外に出かけたり他国の研究者とつながったりする機会が、少しずつ、しかし着実に増えてきました。何より、多様な考え方を理解し受け入れることができるようになってきました。

まずは、日本を出て、多様な文化を実感しましょう。その経験は、どのような仕事・生活になるとしても、必ずや大きな糧となるはずで。国際交流センターは、そのきっかけづくりを支援します。

国際交流の理念 ～実践栄養学を世界へ～

本学ではいつの時代にあっても、日々の暮らしの中で栄養学と向き合うことで、科学に裏打ちされ、人々が実践しやすい食事法の考案、普及に取り組んできました。それが本学の学びのコアにある“実践栄養学”です。

世界トップクラスの健康水準を誇る日本。戦中・戦後の栄養改善の歩みとともに発展してきた“実践栄養学”を日本から広く世界に示すこと、これまで本学が長年担ってきた実践栄養学をベースにした「人材育成」の役割を世界に広げ、世界の食と健康に向き合う人材を育成していくことが、本学の目指していく国際化です。





国際交流プログラムカレンダー

海外研修や国際交流関係のイベントの一覧です。
自分の関心がある研修やイベントの日程を事前に把握し、積極的に情報収集しましょう。

2026年度 国際交流カレンダー Calendar

4 April

- カーティン大学公衆衛生学部賞授与
- 留学生交流会(ピクニック)
- 各種学部・学科主催海外研修履修登録

5 May

- 第1回カフェ・グローバル
- オーストラリア栄養学研修募集説明会(短大)
- UKMサマープログラム応募しめ切り

6 June

- 国際交流報告会

7 July

- ソウル国立大学交換留学生募集開始(春入学)

8 August

- ソウル国立大学交換留学生学内応募締切(春入学)

9 September

- 第2回カフェ・グローバル

10 October

- 海外スポーツ栄養体験実習実施(栄養科学専攻)

11 November

- 荒井慶子グローバル人材育成奨学金募集開始

12 December

- 荒井慶子グローバル人材育成奨学金学生選考
- 第3回カフェ・グローバル/留学生交流会(クリスマス会)

1 January

- ソウル国立大学交換留学生募集開始(秋入学)
- 荒井慶子グローバル人材育成奨学金学生決定

2 February

- ソウル国立大学交換留学生学内実施応募締切(秋入学)
- 国際食活動フィールドワーク実習実施(食文化栄養学科)

3 March

- オーストラリア栄養学研修実施
- 留学生交流会(お別れ会)
- 新留学生ウェルカム川越ツアー

*上記のスケジュールは都合により変更になる場合があります。

*カフェ・グローバルについてはP10をご参照下さい。



提携校の紹介

アイルランド



- 1 ダブリンシティ大学
Dublin City University

韓国



- 2 ソウル国立大学校生活科学大学
Seoul National University

タイ



- 3 マヒドン大学
Mahidol University

マレーシア



- 4 ケバンサアン マレーシア大学(UKM)
Universiti Kebangsaan Malaysia

オーストラリア



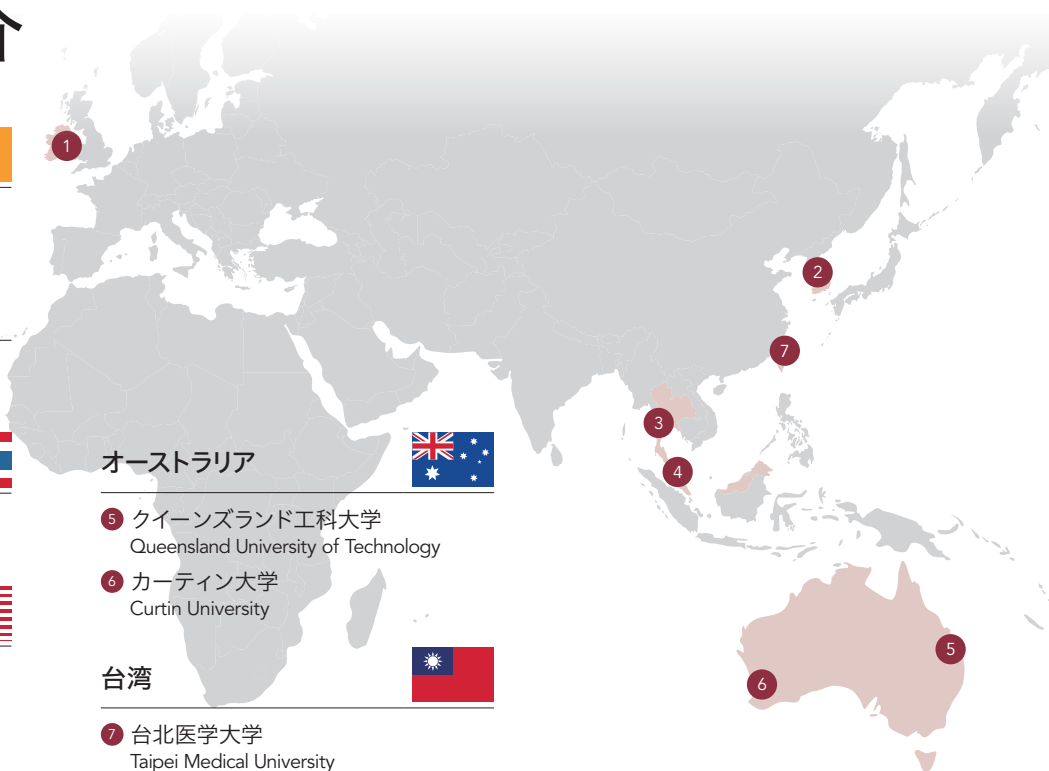
- 5 クイーンズランド工科大学
Queensland University of Technology

- 6 カーティン大学
Curtin University

台湾



- 7 台北医学大学
Taipei Medical University





研修プログラムの紹介

》研修プログラム一覧

研修名	オーストラリア 栄養学研修	本年度は中止 ヨーロッパ 料理研修・洋菓子研修	国際食活動 フィールドワーク実習	海外スポーツ 栄養体験実習
渡航先	オーストラリア (パース)	フランス (パリ、他)	ベトナム (ホーチミン)	オーストラリア (ブリスベン)
研修先/ 留学先	カーティン大学	現地料理・製菓専門学校	現地企業・現地大学など	クイーンズランド工科大学
研修期間	1週間程度	1週間程度	1週間程度	10日間
費用の目安	60万円程度	65万円程度	30万円程度	50万円程度
語学力	条件なし			
主な対象	栄養学部及び 短期大学の1・2年生 (授業)	栄養学部 短期大学部 専門学校	食文化栄養学科 3年生(授業)	保健栄養学科 栄養科学専攻等 3年生(授業)
主催	栄養学部	国際交流センター	食文化栄養学科	栄養科学専攻

*諸事情により研修が中止になる場合があります。詳しくは国際交流課にお問い合わせ下さい。
 *為替レート等により金額が異なる場合があります。上記費用の目安は過去実施例になります。
 *ヨーロッパ料理研修・洋菓子研修は2つの研修を各年で実施しています。

》栄養学部主催の研修プログラムについて

Ⅰ オーストラリア栄養学研修(共通特論XII)

*2025年度より栄養学部の授業(共通特論XII)となっています。学部生は4月に履修登録が必要ですので、ご注意ください。

人 15名以上 **期** 2027年3月11日～3月19日 **言** 条件なし **募** 2026年4月(履修登録) **費** 62万円(2025年度参考)

単 2単位 **滞** ホテル

概 西オーストラリアのパースにある提携校、カーティン大学への短期留学です。1週間のカーティン大学での滞在中は大学内での講義を中心に大学外の栄養関連施設の見学などを行います。

スケジュール *以下はあくまでも一例です。実際の研修内容、飛行機、旅程は変更になることがあります。

2027年 3月11日(木)	成田空港発	空路(直行便) パースへ (所要時間約10時間/日本との時差-1時間) 現地到着後、ホテルへ移動
研修前半	パース	カーティン大学でのウェルカムパーティー 講義・ピクニック 土日の観光(フリーマントル・チョコレートファクトリー等)
研修後半		フードバンク訪問 先住民族の文化を理解するプログラム カーティン大学での講義
3月18日(木)		自由行動 夜:ホテルより集合後、空港へ 空路 帰国へ
3月19日(金)	成田空港着	着後、解散

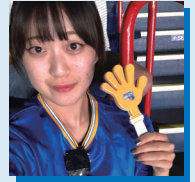


研修参加者の声

海外スポーツ栄養体験実習

保健栄養学科 4年 山崎いろは

留学先 クイーンズランド工科大学(オーストラリア・ブリスベン)
渡航期間 2025年10月2日～10月11日



現地で実施した活動の中で最も印象に残ったこと・楽しかったことは何ですか？

最も印象に残っていることは、クリニックについての説明や見学です。

クイーンズランド工科大学には、大学内にクリニックがあり、実際に一般の患者様の診察をするような場がありました。クリニックで、学生が患者様に対してアセスメントや指導を行える体制が整っている点にとっても驚きました。最終判断は先生になりますが、カウンセリングを含む一連の治療の流れを学生のうちから実際の患者様に対して行えることは自信にも繋がるため、このような体制を整えることの重要性を感じました。

自由行動では何をしましたか？

自由行動では、現地のスーパーでの買い物や観光をしました。スーパーでは、肉の売り方が日本とは違いブロックで販売されており、規格外の大きさに驚きました。日本では見たことのない食材をじっくり見たり、日本の食材と比べたりしました。

留学の意義及び海外研修を通じて得たもの・自分の変化等

最終日には、日本のスポーツや部活動の紹介や、オーストラリアと日本の違いに関する発表を、大学の先生方へ英語でプレゼンテーションしました。その準備をする中で、自分の発音で伝える

英語なのかという不安がかなりありました。しかし、海外研修で得た知識や感じ取れたこともしっかりと伝えることができました。この経験は、「時間をかけて準備したものには自信を持つことができる」という教訓ともなりました。

プログラムを通して、興味のあることは怖がらずに挑戦することの重要性を学びました。完璧な英語でなくても、現地の方と話をしてみたりした経験から、そのことを感じました。

今後、留学を考えている後輩へのメッセージやアドバイス

少しでも興味があるなら、行って損なしです！現地でしか感じ取れないことがたくさんあります。自分の経験や考え方を深めるにはとてもいい機会です。海外という不安がありますが、先生方についていますし基本的に集団行動なので、とても安心です。

私は、今回のプログラムに参加したことで、「自分はこんなことをしたい!」といった将来像がより明確になりましたし、自分に足りない部分も発見することができました。

皆さんが留学で得るものは、自分次第で大きく変わります。今からたくさん行動しているなことを吸収して欲しいです。頑張ってください！

*この研修の報告(全文)は学園ホームページに掲載されております。ぜひご覧ください。

プレゼンテーションの様子



学科主催の研修(授業)プログラム

国際食活動フィールドワーク実習／ベトナム

- 対 食文化栄養学科 費 約30万円
- 単 2単位 申 学科ガイダンス内で説明有り 期 1週間程度
- 概 ベトナムの食文化や生活をフィールドワークを通じて体験します。



海外スポーツ栄養体験実習／オーストラリア

- 対 保健栄養学科栄養科学専攻 費 約50万円
- 単 2単位 申 春に履修登録が必要 期 10日間程度
- 概 英語力を向上させつつ、世界最先端のスポーツ栄養を体験するために、スポーツ先進国であるオーストラリアに学びます。





留学制度

本学の場合、食文化栄養学科以外は留学できるタイミングが非常に限られています。3年生になると校外実習などが入り、留学が困難になる場合が多いです。特に3週間以上の留学を希望する学生は1年生の早い段階から考え、準備してください。

留学を希望している場合には、まずは国際交流課(Knuintlo@eiyo.ac.jp)にメールで連絡をし、早い段階で最初の相談をするようにしてください。メールを頂いた後、Teamsのチャットで担当者よりご連絡をさせていただきます。

以下の通りそれぞれの留学の特徴をまとめました。自分のニーズ、資金計画に適した留学方法を選択するようにしてください。

留学制度早見表

留学制度名	渡航先	期間	メリット・デメリット
私費留学	各自自由。原則、自分で受け入れ先（語学学校等）を探します。	自分で自由に設定します。多くの場合、2週間～1カ月程度	メリット 自分で渡航先・期間を選べる。 デメリット 留学エージェントを通すため、費用が高くなる。エージェントには当たりはずれがある。
交換留学	韓国	半年～1年	メリット 渡航先の教育費は無料。費用が抑えられる。大学同士の協定があるため、安心。
	マレーシア	1週間～	デメリット 渡航先を選べない。期間が長く、修学に影響が出る場合も。
協定留学/ 認定留学	アイルランド 本学提携校	短期・長期どちらもあり	メリット 大学同士の協定があるため、安心。 デメリット 教育費がかかるため、費用はそこまで抑えられない。

私費留学 *マレーシアの交換留学プログラムの詳細は国際交流課にお問い合わせ下さい。

エージェントを使用するため、費用が高くなる傾向はありますが、渡航先を選べば安価で留学が可能です。フィリピン、マレーシアなどは4週間30万円台からの留学金が可能で、荒井慶子グローバル人材育成奨学金(P10を参照)を使用すれば20万円弱の費用負担で留学することが可能です。過去に先輩が使用したエージェント、国際交流課と繋がりのあるエージェントを紹介することも可能です。

交換留学

ソウル国立大学校生活科学大学(食物・栄養学科)への交換留学プログラム

対 大学院生、栄養学部生*¹ **期** 半年～1年間 **費** 学費免除(詳細はプログラムの魅力を参照)

語 TOEFL iBT 88以上、IELTS6.0以上、又はTOPIK(韓国語能力試験) 5以上が目安*²

*1: 少なくとも半年間は日本栄養大学で修学していることが前提となります。 *2: 語学レベル、GPAの目安は変更になることがあります。詳しくは国際交流課にお問い合わせ下さい。

GPA 学部生 2.5 大学院生 3.0

ソウル国立大学校生活科学大学とは?

韓国の最高学府、ソウル大学の中にある学部の1つです。留学先はソウル大学の生活科学大学になります。生活科学大学の中に食物・栄養学科があり、そちらの交換留学プログラムコースに入ることになります。(大学院は自然科学専攻の中に食物・栄養プログラムがあり、そちらに入学します) 大学院の場合は公衆衛生の英語授業を履修することもできます。

プログラムの魅力

プログラムの一番の魅力はソウル大学での学費が免除されることです。大学には安価な寮もありますので、寮と生活費のみで修学が可能です。また、食物・栄養学科は英語で学ぶコース(English-Taught Courses)もありますので、特に英語が得意な学生や留学生には魅力的なコースとなっています。ソウル大学で受講した講義は単位互換で日本栄養大学の単位に変換することが可能です。

スケジュール

春入学	スケジュール
	7月上旬：学内募集開始
	8月上旬：学内応募締切・選考
	9月上旬：ソウル大学にオンライン申請
	10月：ソウル大学にて選考
	11月：結果発表
	12月：入学許可手続き実施

秋入学	スケジュール
	1月上旬：学内募集開始
	2月上旬：学内応募締切・選考
	2月中旬：ソウル大学にオンライン申請
	4月：ソウル大学にて選考
	5月：結果発表
	6月：入学許可手続き実施

*単位互換の科目については、あらかじめ指導教員に確認して下さい。

協定留学/認定留学

本学の提携校への留学やまた食文化栄養学科が実施する中期語学研修制度が主になります。中期語学研修制度は単位認定を受けることが可能です。

食文化中期語学研修制度

- 対** 食文化栄養学科に在籍する3年生等 **期** 3年生前期
- 費** 本学の学費と留学先の学費の双方の負担が必要
*学園の奨学金の申込が可能です。詳しくはP10をご参照下さい
- 学** 提携先のダブリンシティ大学付属の日本語学校等で学びます

*食文化中期語学研修は食文化へ、UKMサマープログラムは国際交流課にお問合せ下さい。

UKMサマープログラム

英語力強化と文化学習を主とした2～3週間の体験型のプログラムです。

- 対** 学部生、大学院生 **期** 8月中～末
- 費** 1800ドル+航空券代等(あくまでも一例です)
- 学** ケバンサアンマレーシア大学キャンパス
- URL** <https://www.ukm.my/pha/clip/>

*15名以上集まらない場合にはプログラムが中止になります。



ソウル大学交換留学日記

栄養学部 実践栄養学科 孫 妃那

留学期間 2023年9月～2024年8月



自己紹介

9月からソウル大学での学生生活をスタートしました。ソウル大学では基礎栄養学や食生活文化及び実習、給食経営論を通じて韓国の食産業や食文化などを学んでいます。試験期間になると覚えることがとても多いので学科の友達と一緒に夜まで大学に残って勉強をしています。今日はそんな私のある1日を紹介します。

10:00

ソウル大学行きのシャトルバスが二か所から出ており、私は大学洞から大学の真ん中にある行政館に到着するバスに乗ります。その後10分くらい授業のある建物まで歩いていきます。大学が韓国国内で一位の広さを誇るほどの土地を持っているので建物が違う授業があると移動が大変です。



10:30

今日は基礎栄養学の授業に参加します。授業で先生が使うスライドはすべて英語で書いてあり、予習しながら翻訳することが必須です。もちろん試験も全て英語です。多くの授業は韓国語ですが、一部の授業に関しては学部生でも英語なので、留学するなら英語を勉強していくのが良いです。

12:00

ソウル大学内にはいくつかの食堂があり、授業する建物の近くで食べる人が多いです。今日は中央図書館の近くにある学生会館食堂でカボチャカレーを食べます。このメニューはカ



ボチャカレーで1000ウォン(110円くらい)と安く、女子学生が食べるにはちょうどいい量です。午後の授業を受けるのに十分なエネルギーをここで補給!

14:00

午後は食生活文化及び実習の授業を受けます。この授業では食文化に関するコンテストへの参加や、食に関するフェスタ等への参加を通じて実践形式で学ぶ授業です。また、外国人クッキングクラスと言って韓国の料理を留学生に教えるという授業もあります。実践形式なので韓国の食文化はもちろん外食産業などにも触れられ、日本との違いを感じます。



18:00

ソウル大学内にある学科専用の部屋で友達とおしゃべりしながら夕方まで過ごし、帰りは大学から出ているシャトルバスに乗って帰ります。

19:00

家に帰って自習をします。韓国語での授業なのでわからない単語を調べ、理解ができなかった部分を録音した授業を聞き直しながら復習します。自習が終わったあと洗濯や掃除などの家事をしていきます。



外国人留学生の声

食生態学研究室1年 チュッドビチャ ゲーウミーシー

	国名	タイ
	出身地	バンコク



1. 自分の国について紹介してください

私はタイ出身です。タイは東南アジアに位置し、文化的遺産、多様な料理、温かいおもてなしでよく知られています。私はタイの首都バンコクの出身で、ここは国の政治、経済、教育の中心地です。バンコクは活気あふれる大都市であり、歴史的な寺院、地元の市場、そして活気ある食文化が特徴的で、現代的な都市生活と伝統文化が見事に融合している場所です。

2. 留学を決めた理由

A. なぜ日本に留学しようとしたのですか？

日本文化と日本人の生活様式に強い関心を抱いていたことが、私が日本へ来る動機となりました。日本は先進的な食品関連の技術と豊かで多様な食文化で広く知られています。日本での留学を通じて、様々な知識と実践的な経験を積み、そこで得た強みと知見を活かし、修士課程修了後はタイにおける食品・栄養関連の実践の改善に貢献したいと考えています。

B. なぜ日本栄養大学を選んだのですか？

私はタイで栄養学と食事療法学の学士号を取得し、この分野への強い関心を育み続けてきました。日本栄養大学を選んだのは、栄養学に特化した専門性と深い知見があり、特にそこに惹かれたからです。この大学で学ぶことで、自分の知識や、学術・専門における自分のそれぞれの目標を更に広げる機会を得ることができると信じています。

3. 大学ではどんな研究をする予定ですか？

私の研究は、日本の「スマートミール」の概念をタイの学校給食モデルに適用することです。この研究の目的は、学校給食の栄養価の向上と学生へのバランスの取れた十分な栄養素の確保や不要な食品廃棄物の削減、そして学生と教師双方への適切な栄養知識の促進にあります。

4. 修士課程修了後の計画について教えてください

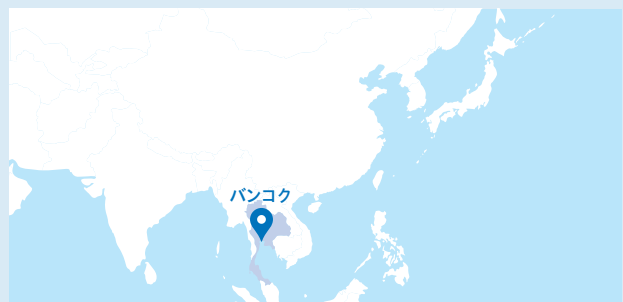
修士課程修了後は、食品関連企業で栄養に関係する仕事ができると良いなと思っています。将来的にはもし機会があれば、国際的な業務経験も得たいと考えています。まずは日本栄養大学卒業後3年間はタイ国内の食品企業で勤務し、学んだ知識と技能を実践する予定です。

さらに、もし機会があれば、タイ政府と連携し、タイの栄養改善に貢献したいと考えています。特に公立学校の栄養プログラムからはじめ、次第に構造的・政策レベルの栄養改善へと取り組みを広げていくことに強い関心を持っています。

5. これから留学を考えている後輩に一言

将来留学を考えている後輩の皆さんには、決断する前に興味のある分野をしっかりと事前に調査することをお勧めします。これにより、やる気が湧き、まず自分の目標が明確になります。また、事前にその国の文化について少し学ぶことも役立ちます。そうすることで、新しい環境への適応も容易になるでしょう。

何よりも大切なのは、学びを楽しみ、自分の健康を大切にすることです。勉強に励むことも重要ですが、適度な休みを取り、勉強と休みの健全なバランスを保つことで、より効果的に学ぶことができます。幸せと健康を伴った学びこそが、海外での経験を真に有意義なものにする最良の方法だと私は思います。



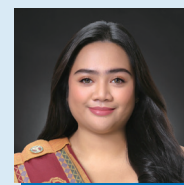


外国人留学生の声

食生態学研究室1年 プリンセス バーナデット エスタル



国名 フィリピン
出身地 マニラ



1. 自分の国について紹介してください

私はフィリピン出身です。フィリピンの首都、マニラで生まれマニラのQuezon市というところで育ちました。マニラは大都市で生活にスピード感があることで知られています。

マニラは都市部であるため、自然の観光スポットはほとんどありませんが、ボニファシオ要塞やリサール公園など、歴史的・文化的象徴が豊富にあり、世界十大ショッピングモールの一つであるモール・オブ・アジアもあります。

2. 留学を決めた理由

A. なぜ日本に留学しようとしたのですか？

日本は世界でも最も平均寿命が長い国の一つとして知られています。この驚くべき事実は、バランスの取れた伝統的な食事、効率的な医療制度、確立された公衆衛生政策など、複数の要因が組み合わさった結果であると考えられています。私は特に、日本の食習慣と公衆衛生戦略が長寿、疾病予防、そして国民全体の健康にどのように寄与しているかを理解するため、その研究に深い関心を持っています。これらの側面を検証することで、他国において研究を健康教育や公衆衛生施策の改善に応用できる知見をえたいと考えています。

B. なぜ日本栄養大学を選んだのですか？

日本栄養大学は、日本を代表する栄養科学の教育機関として広く認知されています。同大学の「バランスの取れた食事と適切な栄養摂取による健康維持・増進」という建学の精神は、私が予防医学に抱く想いと一致しています。健康科学分野において日本栄養大学の世界的な評価は認識しており、また味の素奨学金の受入校にも名前があったため、信頼できる研究・教育機関だと思いました。

3. 大学ではどんな研究をする予定ですか？

私の研究テーマは、ソーシャルメディア上の栄養に関する誤った情報を削除・修正することを目的とした教育フレームワークの開発です。健康に関するコンテンツがオンライン上で急速に拡散するようになったことに伴い、不正確で誤解を招くような栄養関連の情報が増えており、一般の人の認識や認識に伴う行動に対して大きな影響を及ぼしています。私の研究では、批判的思考能力を育み、人々の栄養リテラシーを向上させ、個人がより正確な情報に基づいた食事選択を行なうことができるように、エビデンスに基づく教育的な介入を行う予定です。

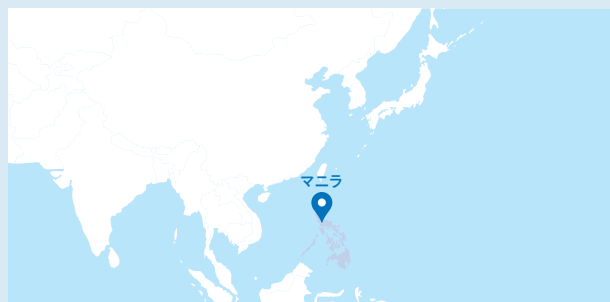
4. 修士課程修了後の計画について教えてください

将来的には博士後期課程への進学を検討しており、学術的・研究的な専門性をさらに深めたいと考えています。博士課程でも健康教育分野における研究を継続し、エビデンスに基づく研究成果を出したいと考えています。長期的な目標は、研究活動に積極的に取り組みながら大学の教員となり、医療専門職業人を育成するとともに、更には教育・研究・地域連携を通じ、健康教育の発展に貢献していくことです。

5. これから留学を考えている後輩に一言

あらゆる面でしっかりと準備をすること——プレッシャーや周りからの支援不足、自分の愛する人たちとの距離に直面するという事に耐えるだけの心の準備を、厳しい学業的な要求や時に難しい決断を下すことができるだけの精神的な準備を、家族から遠く離れ、一人ぼっちの時に自分の健康を維持できるだけの肉体的強さの準備をするようにしてください。

留學生生活は常に明るく幸福に満ちているわけではありません。恐らく皆さんの想像以上に過酷な挑戦だと思います。だから、最も大切なアドバイスはきっと、あらゆる困難に立ち向かうために全身全霊で自分自身を整え、そして何よりこの留学という旅を始めた原点を常に心に留めておくことです。その理由こそが、最後まであなたを支え続ける力となるでしょう。





海外留学のための奨学金制度

留学するためには資金的な準備も必要になります。国際交流課では、留学のための給付型の奨学金情報の提供も行っていきます。応募可能な奨学金は、6号館1階国際交流課前の掲示板及び4号館3階の掲示板に張り出されます。

給付型奨学金の一例

奨学金名	申請レベル/対象国	給付内容
ロータリー財団グローバル補助金	大学院（修士/博士）	\$ 15,800 ~ \$ 30,000
日本学生支援機構海外留学支援制度	大学/大学院（修士）	授業料250万円及び生活費
一般財団法人重田教育財団	大学/大学院（修士）	月額20万円
埼玉発世界行き奨学金	大学/大学院（修士）	100万円
埼玉県姉妹友好州省奨学生派遣事業	米国、中国、オーストラリア等	授業料免除（場合により住居費免除）

荒井慶子グローバル人材育成奨学金

本学の卒業生であり教壇にもお立ちくださった荒井慶子先生からのご寄付で設立された給付奨学金制度です。将来グローバルに活躍することを目標に海外留学を希望する学生の中から選考の上、給付します。詳しくは毎年9月に国際交流インスタグラムでお知らせしますので、そちらをご確認下さい。

対象	大学院生、大学生、短期大学部生、専門学校生 (ただし、在学期間中に報告書の提出まで終わられる者)		
種別	給付	金額	15万~80万円/各
人数	5名以内	申込時期	11月

※上記の内容はガイドラインの改定により変更になる場合があります。あらかじめご了承下さい。
*金額は渡航期間により異なります。詳細は国際交流課にお問い合わせ下さい。

その他のお知らせ

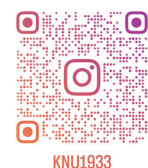
カフェ・グローバル(留学生おしゃべり会)

国際交流センターでは、オンラインで留学生と気軽にお話するカフェ・グローバルを定期的に開催しています。英語でおしゃべりしたい方、海外のことが知りたい方はぜひ気軽にご参加下さい。右のQRコードより参加登録をすることができます。英語が話せない学生も大歓迎なのでぜひ登録下さい!



国際交流インスタグラム/ Instagram

学園・国際交流に関するニュースを簡単な英語でタイムリーに発信しています。海外研修の最新の情報、国際交流関係の学内イベントは、まず最初にこちらのインスタグラムで情報発信します。国際交流に関心のある学生は右のQRコードを読み込み、フォローをお願いします。



KNU1933

国際交流チャット相談

本学でのタブレットやオンライン授業等の導入によるITCの推進の一環として、国際交流課では学生へのオンラインチャット相談を開始しました。Microsoft Teamsのチャットで気軽に留学や海外渡航届等の相談を頂くことが可能です。チャット相談をご希望の学生は初回のみ国際交流課(Knuintlo@eiyo.ac.jp)までメールをして下さい。こちらからチャットで返答いたします。



留学・海外渡航における安全管理

〉 全ての学生対象

海外渡航に必要な3STEP

本学の学生である限り、海外渡航する際には必ず以下の3ステップを実施する必要があります。これは留学に限らず、観光で海外を訪れる際にも必要な手続きになりますので、し忘れることのないよう、お願いします。



STEP 1 海外渡航届の提出



上記のQRコードにアクセスして、海外に行く前には必ず必要事項を記入するようにお願いします。

こちらの届出は学生の安全管理を目的に実施しているものになります。海外で何らかの危機に巻き込まれた場合、救済のために個人情報等を現地大使館などに共有する場合がありますので、予めご了承ください。

STEP 2 情報ネットワーク課への届出



現在、Microsoft 製品 (Outlookや Teams 含む) 等、本学の各サービスに関しましては、海外からのアクセスを制限しています。

観光等で海外からeiyoアドレスの利用をご希望の場合は、eiyoアカウント毎に一時的に解除しますので、以下の申請フォームより渡航前に必ず申請をお願いします。尚、こちらの「届出」ですが、海外に渡航する毎に必要なになりますので、ご注意ください。

STEP 3 「たびレジ」への登録



海外旅行を予定している場合は、緊急時の備えとして外務省が実施している「たびレジ」(渡航登録サービス)への登録が必須となっています。渡航前に、必ずたびレジへの登録をお願いします。



海外旅行保険への加入

本学園内の全ての学生には海外に渡航する場合には海外旅行保険に加入することを奨励しています。強制ではありませんが、空港でも加入することが可能ですので、加入を検討して下さい。学研災の海外旅行保険が安価で便利です。学生生活課で手続き可能です。

海外研修に参加の学生

参加誓約書・医療の委任状の提出

全ての学生に参加誓約書・医療の委任状の提出をお願いしています。海外研修参加の際に国際交流課や各学科からアナウンスがあります。

予防接種の実施

こちらは任意になりますが、渡航先が東南アジアや開発途上国の場合、狂犬病や肝炎が心配される場合もあります。義務ではありませんが、個人の判断で心配な場合は事前に接種をするよう、お願いします。詳細は保健センターまでお問合せ下さい。



Q 留学や海外研修に参加した場合、
単位認定されますか？

A 認定留学や短期の研修プログラムでは留学や研修修了後2単位の単位認定を受けることが可能なものもあります。単位認定されるには事前研修の参加やレポートの提出など様々な条件があり、それを全て満たすことが必要です。自分が参加するプログラムの単位認定にどのような条件があるのか、事前に教務課に確認をするようにして下さい。

Q 留学すると留年してしまいますか？

A 認定留学や研修プログラムでは本学に在籍したままの渡航となりますので、卒業時期が延びる事はありません。一方、休学をして留学する場合は卒業が延期します。留学を考えている場合は早いうちに教員、教務課に相談するようにして下さい。

Q 留学や海外研修には
どのくらい費用がかかりますか？

A 海外研修のおおよその料金はP4に掲載しています。為替レートや参加人数によっても費用は異なってきますので、毎年開催される募集説明会に参加して料金を確認するようにして下さい。留学は私費留学であれば1年間で100万~150万円以上かかる場合もあります(留学する国により大きく異なります)。国や自治体、民間の留学を支援する様々な奨学金制度がありますので、有効に活用するようにしましょう。

Q 語学力はどう伸ばせば良いですか？

A 語学力を伸ばす前に、自分の現在の語学レベルを知ることが必要です。語学力にあまり自信のない人は英検やTOEICで自分の現在の語学レベルをチェックしてみましょう。その上で自分の苦手部分(語彙力、読解力、リスニング力、文法、作文力)を特定し、ワンランク上を目指すように勉強していくと良いでしょう。

Q 韓国語がしゃべれませんが、
交換留学制度に応募できますか？

A 協定校であるソウル国立大学校生活科大学の交換留学制度では、留学生用のプログラムで全ての授業を英語で行い単位を取得することが可能になっています。ただし、英語の場合はTOEFL iBT88以上、IELTS6.0以上の語学力が必要になります。韓国語で学習する場合もTOPIKレベル5以上が必要になりますので、希望する学生は事前に必ず語学試験を受けるよう、お願いします。(詳しくはP6をご確認下さい)

語学試験

以下が主な英語試験の概要です。試験日程などWebで調べてみましょう。

	内容	その他
英語検定	筆記、面接により構成。級によっても異なるが、筆記は語彙力、読解、リスニング、作文力を問われる。	本学大学院へ進学する場合、左記いずれかの語学試験のスコア提出により、大学院入試の英語試験を受験する代わりに、そのスコアを英語試験の成績として換算することができます。詳しくは大学院教務課にお問合せください。スコア換算表は大学院の「学生募集要項」に掲載されています。
TOEIC	読む、聞くが中心のテストと話す、書くが中心のテストの2つに分かれる。	
TOEFL iBT	読む、聞く、話す、書くを総合的に判定、全体で4.5時間の試験内容。インターネット版の試験も有り。	
IELTS	聞く、読む、書く、話すの4つのテストで構成されており、試験時間は2時間45分。	

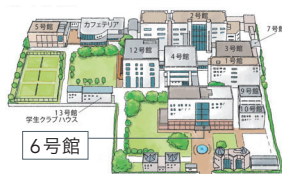
* \$は米ドル。検定料は変更になる場合があります。



学校法人 香川栄養学園 国際交流課 International Office

坂戸キャンパス

住所：〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田3-9-21
電話番号：049-284-6245
場所：6号館1階
メールアドレス：knuintl@eiyo.ac.jp



駒込キャンパス

住所：〒170-8481
東京都豊島区駒込3-24-3
電話番号：03-3915-3569
場所：3号館3階

